

5. 地域の自然や社会との関わり

- 評価・反省
- ・地域の方に、大きな声で挨拶するよう心掛けている。
 - ・すくすく教室では、親子で参加して貰える場での保育を思い切り楽しむ事が出来た。
 - ・学年以外の内容については把握しきれず、確認することも多かったと思う。
 - ・問い合わせの対応で、お便りに目を通すのが不十分で対応に困る事が何度かあった。
 - ・質問されたことに対して、自信をもって答えることが出来なかった。
 - ・すくすく教室での出し物のアイデアが乏しく反省している。
 - ・全ての事を直ぐに対応することは出来ませんでした。行事のことなど他の学年の事については、確認し対応出来ました。
 - ・すくすく教室では、新しい題材で出来るようにした。
 - ・園の方針を全て答えられるまで理解出来ていないと思う。
 - ・地域の方々と朝の挨拶を心掛け、実施していた。
 - ・すくすく教室で前回の内容を把握し、いつ来ても楽しめる内容となるよう工夫した。

(お助けマン)

- ・電話は顔が見えない為、丁寧にお話しするよう心掛けている。
- ・園の一員であるという自覚をしっかりと持たなければいけない。
- ・園の決りごとについて他の先生に聞く事が有り、すぐ質問に返答出来ない事が有った。
- ・地域の方々には挨拶など積極的にしている。
- ・地域の方々と会う機会そのものは少なかったが、園外に出た時は積極的な挨拶を心掛けた。

反省を基に来年度実行・改善すること

- ・今年度同様、大きな声で挨拶出来る様にする。
- ・今まで以上に、地域の方々と明るく挨拶し関わっていききたい。
- ・学年便りなどでどの学年の事もきちんと頭に入れておいたり、打ち合わせでの伝達事項をきちんと覚え、来客者や問い合わせに対応していききたいと思う。
- ・しっかり園の便りに目を通し、他の学年に行事や服装・持ち物なども出来るだけ把握しておく。
- ・どんな問い合わせでも、的確に答えられるようにする。
- ・今まで通り、地域の方々と触れ合いを大事にしていきたい。

- 来園される方や地域の方に笑顔で対応し、園の顔として努めていきたい。すくすくで、もっと面白い出し物をしたい。
- 事前に分かっていることは、打ち合わせなどで先に聞いておき出来るだけ素早く対応出来る様にしたいです。自身の学年についても、しっかり細かく伝える様にしたいです。
- 新しいものをやることに不安があるので、常に様々なアイデアを持てるようにしていきたい。
- 理解して、質問に答える事が出来る様にしたい。

(お助けマン)

- 新入園児用品渡しや入園説明会などの日程・時間などをきちんと把握し、正しい情報を伝えられるよう心掛けていきたい。
- すくすく教室での様子を、職員が交代で見るとよい。
- 保育の方針・園のルールをしっかり覚え、対応していきたい。常に自分は何が出来るかを考えて仕事をしたい。
- 再度、入園のしおりを確認するなど、的確に答えられるよう努めていきたい。
- 園に関する問い合わせで分からないことは即答せず、正しい情報を確認してから伝える。もしくは担当者に引き継ぐ。